

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市戦災復興記念館
2	指定管理者	仙台ひとまち交流財団・東北共立グループ
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 区分貸し施設 H30年度 34,970人（前年度比99%） H29年度 35,477人 H28年度 34,809人 H27年度 39,698人 時間貸し施設 H30年度 94,392人（前年度比97%） H29年度 97,035人 H28年度 98,834人 H27年度 105,974人 資料展示室 H30年度 7,124人（前年度比96%） H29年度 7,417人 H28年度 7,665人 H27年度 10,292人 ※H30年度2/6～3/31照明工事のため資料展示室休館</p> <p>《事業》 【協力事業】「戦災復興展」 【主催事業】「出前講座（移動ミュージアム）」「SMMA ミュージアムユニバース」 「出前講座活動パネル紹介」 【文化芸術事業】「戦災復興記念館コンサート2019 春風の調べ～ピアノの音色とともに～」 「山田絵画教室 作品展」 「季節の展示」 「舞台豆知識ボード バックナンバー展」 【地域連携事業】「街なかコンサート@戦災復興記念館」 「春日町マザーズチャイルドセンター 展示」 「(公財) 仙台ひと・まち交流財団子ども育成課 展示」 他</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に支払った費用 124,290千円 (125,181千円) ・その他市が負担した費用 12,242千円 (10,710千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料収入 38,185千円 (36,683千円) ・その他収入 287千円 (730千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート（平成31年2月1日から平成31年2月28日）</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解している。 ・施設の管理運営を通して、施設目的を達成している。 	24/24
II 施設の運営管理体制	予約システムの調定チェックを徹底している(入金取消等)。	30/30
III 施設・設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者のできる範囲において、概ね良好な建物・設備の管理、安全性の確保及び機能の保持、備品の管理、利用者が快適に利用できるような状態の保持、新・仙台環境行動計画に則った取組みの実施、外構の保守点検、清掃業務の適切な実施、利用者が快適に過ごせるような景観の保持がなされている。 	24/24
IV サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい受付案内の実施、格差が生じない施設サービス水準の確保して、寄せられた意見や苦情への対応・利用者からの意見や課題がある場合への対応策を講じる等、適切な対応を実施している。 	28/28
V 施設固有の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民や組織、事業者と良好な関係を維持している。 ・仕様書に定める施設運営、施設管理、その他市長が必要と認める業務を適切に実施している。 ・指定管理者が提案した内容について実施している。 	3/3

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（仙台ひとまち交流財団・東北共立グループ）による自己評価》
<p>東北に唯一の戦災復興施設である仙台市戦災復興記念館の指定管理者として、歴史資料施設・文化芸術施設・地域施設という施設の3つの特性を踏まえた次の各運営方針を掲げ、各種事業に取り組んで参りました。</p> <p>①歴史資料施設として、戦災と復興の歴史を記録し、世代を超えて語り継いでいく拠点施設として運営します。 見学に訪れる子供たちや出前講座の児童向けの「戦中戦後のくらし」を写真の差替えやルビをつけて更新しました。 市民センターとの共催事業の実施も増えており、また、収蔵物の有効活用と施設のPRを図るため、ロビーを会場とした展示を行うとともに、市内歴史資料施設9施設で構成する歴史ミュージアムネットワークのスタンプラリーやミュージアムユニバース、伝統門松の展示等の各種事業に参加しました。</p> <p>②文化・芸術活動の促進を図る事業の実施や施設環境の向上に努めます。 既述のピアノコンサートの他、舞台芸術施設として、舞台技術をより身近に感じていただけるように、舞台まめ知識ボードのバックナンバー展をロビーにて開催しました。</p> <p>③大町・立町・肴町界隈の住民組織と共に地域コミュニティの発展に寄与します。 第2回「街なかコンサート」の開催や、花壇整備事業の他、震災対応を機により深まった地域とのつながりを基礎に、地域施設の指定管理者として、地元町内会の非常食や災害用品の預かりを受入れるなどしました。</p> <p>戦後73年を迎えるにあたり、語り部の方々の高齢化や戦災に対する意識の低下を懸念しつつ、それらに対応するため様々な事業を模索展開していることは、胸を張れるものと自己評価しております。この成果・実績を踏まえ、次期指定管理期間において、さらに各種事業の水準を高めるとともに、資料展示室の充実や記念館外での伝承事業の拡大、地域との連携協働、施設利用満足度の向上に一層励んで参ります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>歴史資料施設・文化芸術施設・地域施設の多様な特性を踏まえた位置づけの施設として、1年間適切に管理・運営がなされました。</p> <p>協力事業の戦災復興展では、平和学習として昨年以上に規模を拡大した中で適切に管理・運営がなされました。これにより多くの若い世代へ戦争について伝えることができ、考えるきっかけとなったのではないかと思います。また、復興展のコンサートでは問合せも複数あり、市民の方も楽しみにされていたようです。</p> <p>施設の老朽化が進む中、施設利用者目線で修繕が必要な点の情報提供がなされました。</p> <p>来年度も戦災と復興、文化芸術活動の促進、地域コミュニティの発展の場として、一人でも多くの方々に満足して頂ける戦災復興記念館になるよう期待しています。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：青葉区まちづくり推進課